



株式会社 鶴見製作所  
TSURUMI  
MANUFACTURING CO., LTD.

大阪本店 〒538-8585 大阪市鶴見区鶴見4-16-40  
TEL/06-6911-2351(代) FAX/06-6911-1800

東京本社 〒110-0016 東京都台東区台東1-33-8  
TEL/03-3833-9765(代) FAX/03-3835-8429

[www.tsurumipump.co.jp](http://www.tsurumipump.co.jp)



SNS公式アカウント



SDGs(持続可能な開発目標)に貢献する環境に配慮した  
FSC® 認証紙とバイオマスインキを使用しています。

NO.CP201-B  
JPC-C-I-B

# CORPORATE PROFILE

会社案内



# For The **Earth**, For All The **People**

地球のために、かかわるすべての人のために







## TOP MESSAGE 社長挨拶

### ポンプを通じて 社会に貢献

私たちは、水を守り、コントロールする技術をお届けしています。

農業用パッチカルポンプから始まった挑戦は、

暮らし・産業・自然、様々な分野で活躍し社会基盤を支える存在に—

私たちはポンプ事業を中心に「水と人とのやさしいふれあい」を追求しています。

命の源である、水。私たちの暮らしと切り離すことのできない、水。

持続可能な社会を目指す対策が求められる今、

私たちのポンプは、より一層の活躍が期待されています。

安全な水をより多くの人に届けること、

異常気象による災害から人々の生活を守ること、

限りある水資源を有効に利用し地球環境を守ること—

そして、次の100年の「水と人とのやさしいふれあい」のために

情熱を持って挑戦し続けることが、変わることのない私たちの使命です。

地球のために、かかわるすべての人のために

大切なものを今一度心に刻み、新たな100年を歩んでまいります。

今後とも、温かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 辻 浩

## ブランドスローガン

### For The Earth, For All The People

地球のために、かかわるすべての人のために

## STORY スローガン誕生経緯

世界で持続可能な開発に向けた様々な課題解決が求められるなか、  
鶴見製作所では次の100年に向けて「社会」・「環境」を  
メインの課題とした活動をスタートしています。

持続可能な社会の実現に向けて、「地球」そして「かかわるすべての人」  
この2つの軸を中心とした社会の課題解決に貢献することで、  
事業成長、そして企業成長に取り組んでまいります。

ブランドスローガンは、この2つの中心軸から誕生しました。



Earth

#### 地球のために

2030年までに、再生エネルギーの活用、プラスチック  
廃棄物の削減、使用材料の見直し、DXの推進、低公  
害車の導入などを進めて、企業活動におけるCO<sub>2</sub>  
排出量を削減する。



People

#### かかわるすべての人のために

2030年までに、安心して暮らせる社会の実現及び、  
働きがい向上による企業活性化を目指す。

#### 経営理念

水と人とのやさしいふれあい

#### ブランドスローガン

For The Earth, For All The People

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## Construction and Civil Engineering

### 建設・土木



みんなが住み続けられるまちづくりを  
目指す工事現場で、**未来の人への橋渡し**をいたします。

まちづくりの工事現場から土木インフラの大規模工事まで、また災害復旧・復興などで活躍しているツルミの水中ポンプは、業界で圧倒的な支持を得ています。中でも、電極式自動運転ポンプは、水位を検知して、必要な時のみ自動運転を行うことでCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与します。



## Water Resources and Water Treatment

### 水資源・水処理



人と環境の明るい未来を目指して  
**大切な水環境を守ります。**

河川・湖沼・海域の汚れの原因となる家庭や工場からの排水を浄化する下水処理場で、水中ポンプ・ブロウ・ミキサー・曝気装置・汚泥脱水機などが使われています。近年では、各種水処理関連機器の高効率化を実現し、電力消費量が多いと言われる水処理分野での省エネに貢献しています。





## River and Flood Control

### 河川・治水



自然との共生・地域社会への貢献を果たし、  
確かな技術を提案します。

局地的集中豪雨や降雨パターンの変化による長雨などの増加に伴い、ポンプの活躍の機会が増加しています。水害から地域社会を守るだけでなく、排水機場のポンプ設備を水中ポンプ化することによって施設のコンパクト化を実現し、建設時の環境負荷の低減にも貢献しています。



水害への備えから復旧作業まで、  
社会と暮らしの安全に貢献します。

多発する水害への対策はもちろん、水害発生時の復旧作業でも各種製品が使われています。



## Industry and Energy

### 産業・エネルギー



クリーンな環境を作り、安定したエネルギーを全ての人に。  
国内に加え、海外でも信頼を得ています。

産業基盤を支えるエネルギー産業では、安定供給の観点から高い信頼性が求められ、地熱発電などの発電所、鉄鋼・素材・重化学工業など各種産業の工場・プラントで真空ポンプや水中ポンプが使われています。





# FIELDS OF TSURUMI 事業案内

## Underground Resources and Mining

### 地下資源・採掘



限りある資源を効率よく採掘。  
過酷な条件に耐える新技術を提案します。

生活の基盤を築く上で必要不可欠となる地下資源の採掘では、効率的な作業を行うために土砂水の移送が必要となります。露天掘り・坑内掘りの過酷かつ様々な状況に応じて、高揚程から大水量タイプ、そして耐食性、防爆性に優れた製品が活躍しています。



## Agriculture and Irrigation

### 農業・灌漑



農業用水の確保を通じて、  
将来的な食料の安定供給に貢献します。

農作物の成長に不可欠な農業用水の多くは、河川・ため池などを水源とし、灌漑用水路を経て水田・畑に供給されています。この河川・ため池などからの取水に、大容量タイプの陸上ポンプや水中ポンプが使われています。





水中ポンプ業界で最高レベルの規模と設備を誇る生産拠点

## 京都工場が次の100年に向けて 『ものづくり革新プロジェクト』を稼働

### 京都工場 (マザー工場)

総敷地面積: 50,266m<sup>2</sup>  
総延床面積: 41,588m<sup>2</sup>

### 主に水中ポンプ・システム機器の製造を担う

京都工場はポンプ業界で最高レベルの規模と設備を誇る生産拠点です。実験や研究のための設備も充実。開発から生産までの一貫体制で、小型から大型、特殊ポンプまであらゆるニーズにお応えします。  
今回、次の100年を見据えたものづくり革新を推進するため、新たに『ものづくり革新プロジェクト (IM2030: Innovative Manufacturing (Kyoto) 2030)』を稼働。ツルミの次世代へ向けたものづくりの象徴となるモータ生産棟が竣工し、京都工場の今後の進化にご期待ください。



モータ生産棟

太陽光発電システムを設置し、  
脱炭素社会の実現に取り組みます。



モータ生産棟  
全景イメージ

京都工場全景



モータ  
生産棟

### テクノロジー 次世代に向けたものづくり改革

## ツルミグループ会社による特殊鋼の casting 体制の確立

ツルミグループ会社による当社初のハイクロム鋼・ステンレス鋼の casting 事業がスタートしました。当社ならではの技術として、米子工場 造形研究所の砂型積層造形装置 (3Dプリンタ) で造形された砂型を casting に活用することで、自社内で『短納期・高精度・高品質な部品製作』が可能となります。

### アロイテクノロジー casting 事業部 (八尾工場) 外観



### casting の様子



### 第1号記念 casting 品 (ハイスピン形羽根車)





# PRODUCTION BASES 生産拠点

顧客の要求品質・コストに応じた製品の生産拠点

米子工場はものづくり力の向上を目指して日々研究を行っています



## 米子工場

総敷地面積：29,232m<sup>2</sup>  
総延床面積：12,742m<sup>2</sup>

主に大型揚排水ポンプ・大型水中ポンプ・  
液封式真空ポンプ・液封式圧縮機の製造を担う

米子工場では主に大型揚排水ポンプ・大型水中ポンプ・液封式真空ポンプ・液封式圧縮機の製造を担っています。水深11m、保有水量3,500m<sup>3</sup>の地下試験水槽と水深10m、保有水量3,100m<sup>3</sup>の試験水槽を保有し、吐出口径2,000mm級の揚排水ポンプ、無注水先行待機形ポンプ、口径600mm超の液封式真空ポンプ、液封式圧縮機の生産対応が可能です。

また、流体研究棟では実験研究設備や材料試験・分析装置を用いて実測と解析を行い、造形研究所では砂型造形に関する実験・研究も盛んに行われており、よりよい製品をお客様に提供するため、日々研究を行っています。

米子工場全景



造形研究所全景



## 生産棟

生産棟内全景



5面加工機



国内最大級の水中ポンプを製造



## 試験エリア

3,100m<sup>3</sup>試験水槽



3,500m<sup>3</sup>試験水槽内



φ1800立軸斜流ポンプ試運転状況



## テクノロジー 次世代3D砂型積層造形

### 最新技術を活用した新たなものづくり手法の確立

造形研究所に砂型積層造形装置(3Dプリンタ)を導入し、『短納期・高精度・高品質な鋳物生産の実用化』と『ものづくりDX(デジタルトランスフォーメーション)推進』を目指して日々研究をおこなっています。砂型を積層造形することにより、従来の木型工法と比較して大幅な期間短縮及び鋳造精度の向上が可能となり、当社グループ会社アロイテクノロジーでの鋳造事業においても実用化がスタートしています。

造形研究所外観



砂型積層造形装置(3Dプリンタ)



造形物(加工完成品・鋳型サンプル)





## ツルミポンプをもっと世界に。 世界に広がるツルミのグローバルネットワーク。

高度な技術力、そして独創性と優位性を世界に実証してきたツルミポンプ。  
世界各地でツルミポンプの技術力が高く評価されています。





# TSURUMI HISTORY from 1924

## 創業期 1924-1961 大正13年～昭和37年

ポンプで農家を楽に豊かに

新製品開発は、  
借金しては良いものできない、  
100円のお金で30円の商売をする。

初代社長  
辻本 治三郎

弱冠24歳で「鶴見商会機械部」を創業

自らも苦勞した農作業を改善して、農家の暮らしが楽で豊かになるような農業機械の製造販売事業を興そうと決意。前身会社の鶴見商会機械部を創業。



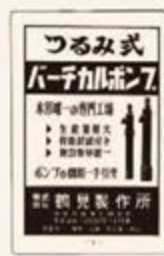
1924



▲ 農業用バーチカルポンプ  
TDL型



▲ 農業用水を用水路に汲み揚げる  
バーチカルポンプTDL型



▲ 当時の広告

1950



▲ 土木・工業用バーチカルポンプ  
TDW型



▲ 現場で活躍するバーチカルポンプTDW型2段式タイプ

1953



▲ 製品化された最初の  
「水中ポンプ」EP型

1963



▲ 水中ベビーポンプ  
初期型

1967



▲ 設備用水中  
オートポンプ  
(電極式)MB型

1968



▲ 設備用水中  
オートポンプ  
(フロート式)TB型

1969



▲ 小型水中ポンプ専用工場の自動塗装/乾燥機

1970



▲ 大型ライン工場

1924年 大正13年

- 辻本 治三郎が鶴見商会機械部を創業。
- 農業用バーチカルポンプTDL型を開発。

1935年 昭和10年

社名を鶴見製作所に改める。

1950年 昭和25年

土木・工業用バーチカルポンプTDW型を開発。

1951年 昭和26年

- 株式会社に改組して、株式会社鶴見製作所を設立。
- 辻本 治三郎初代社長就任

1953年 昭和28年

最初の『水中ポンプ』を開発。

1961年 昭和36年

辻本 治男2代目社長就任

1963年 昭和38年

水中ベビーポンプBB型を開発。  
家庭用電源100Vで使用でき、当時としては画期的な  
小型軽量(15kg)な水中ポンプを開発。

1965年 昭和40年

- 「全国車で2時間」のネットワークサービスを構想。  
1980年(昭和55年)には全国63箇所の営業網を確立。
- 業界初、サークルサマルプロテクタ内蔵(モータ  
保護装置)の水中ポンプを開発。

1967年 昭和42年

設備用水中オートポンプ(電極式)MB型を開発。

1968年 昭和43年

設備用水中オートポンプ(フロート式)TB型を開発。  
業界初の1年間保証をうたう。

1969年 昭和44年

- 海外戦略の第一歩として、台湾に台北駐在員事務所を  
開設。
- 業界初の小型水中ポンプ専用工場完成。

1970年 昭和45年

- 業界初の大規模ライン工場完成。
- 業界初の水中高スピンポンプSS型を開発。

## 成長期 1961-1998 昭和37年～平成10年

本店社屋完成、業務・事業改革の加速

現場へ行け。  
クレームから逃げるな。  
全力でぶつかれ。

2代目社長  
辻本 治男

1961年就任

高度経済成長時代のもと、全国規模で市場が急拡大する  
中、製造・開発体制の強化と国内営業ネットワークの整  
備という、重要な経営課題にのぞんだ。



1971



▲ 大阪本店ビル(3階建て)

1973



▲ ツルミ製品センターの小型水中ポンプライン

1982



▲ 当時の京都工場

1983



▲ 長野県の排水機場に納入した  
TD5-1000MXS型2台

1989



▲ 明石海峡大橋のケーソンに据え付け作業中の  
水中ポンプとケーソン沈設に活躍した  
耐海水用水中ポンプKRS-1255型

1994



▲ 新京都工場竣工

1997



▲ 大阪本店社屋竣工



▲ 当時の台湾工場

1971年 昭和46年

大阪本店ビル(3階建て)竣工。

1973年 昭和48年

ツルミ製品センター完成。  
小型水中ポンプの最新鋭オートメーション生産を開始。

1976年 昭和51年

香港に販売現地法人を設立。

1978年 昭和53年

シンガポールに販売現地法人を設立。

1979年 昭和54年

アメリカシカゴに販売現地法人を設立。

1981年 昭和56年

大阪証券取引所第二部に上場。

1982年 昭和57年

京都工場竣工。業界初のコンピュータ管理による最先  
端のFMS(フレキシブル生産システム)工場として完成。

1983年 昭和58年

当時国内最大級の水中斜流ポンプ(吐出し口径  
1000mm、出力220kW)2台を水害対策用として、長野  
県に納入。翌年にはさらに大型の水中斜流ポンプ(吐  
出し口径1100mm、出力330kW)を大阪府高槻市に納入。

1988年 昭和63年

東京証券取引所第二部に株式上場。

1989年 平成元年

明石海峡大橋のケーソン沈設で当社水中ポンプが採用。

1990年 平成2年

- 大阪・鶴見区で開催された「花と緑の博覧会」の水上  
交通機関「ウォーターライド」に当社製品が採用。
- 東京・大阪証券取引所第一部へ指定替え。これを機に  
新コミュニケーションマークを発表。  
翌年「人と地球への快適工学-Amenics(アメニクス)  
宣言」を行う。

1992年 平成4年

設備用小型水中ポンプバンク(VANCS)シリーズを  
開発。

1994年 平成6年

- 新京都工場竣工。
- 関西国際空港の旅客ターミナルビル関連で当社水中  
ポンプが採用。

1995年 平成7年

水中ポンプメーカーとして初めて京都工場が  
『ISO9001』認証を取得。

1997年 平成9年

- 大阪本店新社屋(7階建て)竣工。
- 海外初の生産拠点となる台湾工場を台湾桃園市に  
竣工。水中ポンプの生産操業を開始。



# TSURUMI HISTORY from 1924

## 飛躍期 1998 - 現在に至る 平成10年～

グローバル展開の加速

何もしないことが、  
最大のリスク。

3代目 現代表取締役社長  
辻本 治

1998年就任

ポンプ技術を通じて、地球環境に貢献すべく、ひたすら  
未来を見つめて、常に新たな道を切り開いていきます。



1998年 平成10年

- 辻本 治3代目社長就任
- 水中ポンプのメカニカルシール用潤滑装置「オイルリフター」を開発。水中ポンプの心臓部であるメカニカルシールの信頼性向上、維持管理コストの縮減に貢献。

1999年 平成11年

- 社内外広報誌「Amenics」創刊号を発刊。
- 画期的な技術を活用した「可変速ドライバ付水中ポンプ」を開発。『建設技術審査証明(下水道技術)』を取得。

2000年 平成12年

- 東京本社が自社保有ビルで営業開始。
- 京都工場が「ISO14001」認証を取得。

2001年 平成13年

- マレーシアに販売現地法人を設立。
- 大阪本店、東京本社、各支店などで「ISO14001」認証を取得。

2002年 平成14年

- 中国上海に中国工場(現上海工場)竣工。
- 水中ポンプの生産とビルトインモータの生産操業を開始。

2004年 平成16年

- 栗村製作所との経営統合。
- 大型揚排水ポンプ、液封式ポンプ事業に本格参入。

2006年 平成18年

- 韓国に販売現地法人を設立。

2007年 平成19年

- タイに販売現地法人を設立。

2009年 平成21年

- 米子工場に機械加工専用棟のVP棟竣工。

2010年 平成22年

- 上海工場が「ISO9001」「ISO14001」認証を取得。

1998



▲ オイルリフターとBN型カットモデル

2000



▲ 東京本社ビル

2004



▲ 栗村製作所全景(現米子工場)

2011



▲ 長野県の排水機場に納入したツルミ最大口径の立軸斜流ポンプ(吐出し口径1800mm、出力420kW)

2012



▲ 新台湾工場竣工、主に小型水中ポンプを生産

2018



▲ 米子工場 造形研究所と砂型積層造形装置(3Dプリンタ)  
3Dでの湯流れ解析による方案設計のイラストと3Dプリンタによる砂型のカットサンプル

2018



▲ ベトナム工場竣工



▲ 雨水排水機場に設置され洪水対策用に貢献する高効率水中ノンクログポンプB型

2019



▲ 新上海工場竣工、真空ポンプを生産する上海真空工程(1階)と水中ポンプを生産する上海工場(2階)が統合



▲ オーストラリア販売現地法人設立、鉱山市場への販売を強化

2020



▲ 人工カヌー・スラロームコースの水流作りに貢献した国内最大級の水中ポンプSSP-1350GS型(吐出し口径1350mm、出力350kW)



2021



▲ 米子工場 新大型ポンプ生産棟竣工、水深11m 保有水量3,500m³の大型試験水槽



2023



▲ アロイテクノロジー・鋳造事業部(八尾工場)竣工、ツルミグループ初の鋳造事業を開始  
3Dプリンタによる砂型からの鋳造で、より高精度な部品製造が可能



2024



▲ イタリアのZENIT社を完全子会社化



▲ 京都工場 モータ生産棟竣工

2011年 平成23年

- 米子工場 流体研究棟竣工。大型試験水槽を増設。
- ツルミ最大口径の立軸斜流ポンプ(吐出し口径1800mm、出力420kW、ガスタービンエンジン駆動)が新設として長野県に納入。

2012年 平成24年

- 台湾桃園市に新台湾工場竣工。主に小型水中ポンプを生産。
- 電極式自動運転水中ポンプシリーズがNETIS登録。その後、水中ポンプの長寿命化を実現したオイルリフターなどが順次登録。

2013年 平成25年

- 多重円板型脱気機JD型開発。従来からの多重板型スクリーンレス脱気機と合わせ、小型脱気機市場に対しラインナップの拡充を図る。
- インドネシアに販売現地法人を設立。

2014年 平成26年

- 米子工場 研修棟/事務所棟竣工。
- アラブ首長国連邦に販売現地法人を設立。

2018年 平成30年

- 米子工場 造形研究所竣工。砂型積層造形装置(3Dプリンタ)を用いた砂型造形に関する研究を開始。(詳細:P.18)
- ベトナムホーチミンにベトナム工場竣工。水中ポンプの生産操業を開始。
- 高効率水中ノンクログポンプB型開発。

2019年 令和元年

- 中国上海に新上海工場竣工。真空ポンプと水中ポンプ、モータ生産工場を統合。
- オーストラリアに販売現地法人を設立。

2020年 令和2年

- 宇都宮市にツルミ東日本ロジスティック竣工。東日本の物流拠点を担う。
- 日本初の人工カヌー・スラロームコースで国内最大級の水中ポンプ(コラム式水中ポンプSSP型)が活躍。
- 南アフリカ共和国に販売現地法人を設立。

2021年 令和3年

- 高効率と過渡性能を兼ね備えた画期的な水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型を開発。
- 高効率水中ミキサーMRH型を開発。
- 米子工場 新大型ポンプ生産棟竣工。水深11m、保有水量3,500m³の地下試験水槽を備えた。

2022年 令和4年

- 東証の市場区分変更により、東証プライム市場に移行。

2023年 令和5年

- アロイテクノロジー・鋳造事業部(八尾工場)竣工。グループ会社による当社初の特殊鋼の鋳造事業を開始。(詳細:P.12)
- 京都工場が次の100年に向けて『ものづくり革新プロジェクト』を始動。(詳細:P.11-12)

2024年 令和6年

- 創業100周年。
- イタリアのZENIT社を完全子会社化。
- 京都工場にモータ生産棟竣工。



## 鶴見製作所 SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み

鶴見製作所は、「水と人とのやさしいふれあい」を経営理念として、私たちの暮らしと切り離せない水を守り、コントロールする技術を提供しています。地球の生命が水から生まれたように、ツルミの技術も水中ポンプという水の技術から生まれました。ツルミにとって、環境保護への取り組みは欠かすことのできない使命です。また技術革新の原動力は、ハードな作業環境で働く人々のお役に立つこと、誰もがもっと水を有効に使えるようにすることです。私たちは、「人にも地球にも心地いい快適工学」の実現を目標とし、SDGsの活動に取り組んでまいります。



### 安心して暮らせる社会のために

鶴見製作所は、水中ポンプを中心として様々な製品開発・販売を通じて、水インフラを支えています。幅広い実績とノウハウにより、世界の国々のそれぞれの市場で異なる水問題に対し、最適なソリューション提案及び製品&サービスの提供を行っています。



### 人を育てる

鶴見製作所は、働き方改革をさらに推進していきます。若者や障がい者を含む全ての人々が区別なく平等にチャンスを与えられ、持てる力を最大限に発揮して仕事に取り組み、より良いキャリアを形成できるよう個と組織の強化に取り組んでいます。



### クリーンエネルギーへの転換

環境負荷軽減のため、低公害車の採用や使用する電気を再生可能エネルギー100%の電力に切り替えを進めて、当社におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めてまいります。



## 地球のために、 かかわるすべての人のために

この先また100年、  
地球が健やかに命を育み守り続けていくために  
私たち鶴見製作所は、これからも水とともに歩み続けます。  
変わりゆく地球環境に対応し、  
これまで培ってきた技術を磨き、新たな道を切り拓いて —  
この先の未来が、うるおい豊かで快適な社会となるために、  
ツルミの挑戦はこれからも続きます。

鶴見製作所の  
SDGsへの  
取り組みをご紹介します

